

案件名「御殿場駅周辺地域まちづくりビジョン」(案)

本案に対し、ご意見をいただきありがとうございました。出された意見の内容(概要)及び意見に対する市の考え方は以下のとおりです。

みんなの声を活かす意見公募手続の結果

1	意見提出者数	2人	
2	提出された意見の数	12件	
3	意見の反映状況		
①	反映した意見	0件	
②	既に盛り込み済みの意見	8件	
③	今後参考とする意見	4件	
④	反映できない意見	0件	
⑤	その他(質問等)	0件	
4	意見の反映状況一覧		
No.	意見の内容	市の考え方	反映結果
1	計画年度10年は妥当だと思う。そして、計画区域を7つに分けた事で、各コミュニティの特性を生かすことができると思う。	各区域の特性を生かした取組を市民等の皆様と実践していき、「楽しい」、「魅力を感じられる」「居心地のよい」と思えるようなまちづくりを進めて参ります。	②
2	前計画ではハード整備中心の施策が多かったように思える。今回の方針はソフト事業等、ひとづくり、担い手づくりを重視した方針が明らかで期待が大きい。	商店、住民等の営みがあってこそハード整備事業と考えておりますので、まずは皆様の意見を伺い、一緒にまちの魅力を磨く取組(ソフト事業)を実践していく中で、その取組が更に効果的に、快適に実施できるようなハード整備事業を目指していきます。	②

3	<p>本市の人口減少が進行しているが、駅周辺は 6,000 人を維持していることは新たな発展の可能性を期待できる。地域住民は、暮らしやすく、賑わいのあるまちを求めていることが分かるので、本計画案への支持が得られるのではないかと。</p>	<p>人口減少が加速している中で、過去 10 年に渡って御殿場駅周辺地域の人口を維持できていることは、今までの先人の取組や市民、住民の皆様が継続して住みやすいまちとして環境を創ってきていただいたことに他なりません。皆様の意見を伺いながら、このコミュニティ、文化、風土を大切し、新しい価値との融和を図って参ります。</p>	②
4	<p>高等学校の再編の動きは駅周辺の活性化にはソフトハードともに、多大な影響があるので、行政の積極的な関与を望む。</p>	<p>県立高校の再編の動きがある中で、積極的に情報収集に努め、今後の展開に対応して参ります。</p>	②
5	<p>まちづくりはソフト事業、ひとづくりからが基本だと思っているが、決してハード事業を否定しているわけではない。住民が求める、暮らしやすさ、利便性を高めるためには、公共交通、医療、商業施設、金融機関、行政機関等を駅周辺に誘致するなどして、利便性を高めることも留意して欲しい。あえて言えば、歩いて暮らせる便利で安全なまちづくりを望む。</p>	<p>ご意見のとおり、まずは皆様の意見を伺い、人づくり、人財発掘をしていく中で、その取組が更に効果的に、住民が居心地良く、快適に過ごすことができるようなハード整備事業を目指していきます。また、ハード整備事業については実施時期に別途計画を策定し、推進して参ります。</p>	②
6	<p>駅周辺の賑わいが去って 80 年ほど経過した。これにより生じた空洞化は空き店舗と買物難民を生み出した。大型商業施設の相次ぐ出店は、中心市街地から賑わいを奪った。商店街の集客力は失われると同時に、まちとしての魅力も喪失した。 まちの復活をあきらめていた自分だったが、御殿場の魅力を再生しようとする者たちの提案や活動に感動した。</p>	<p>市では、この地域をもっと良くしたいという方（まちづくりプレイヤー）を集め、意見を交わし、実践する場として、「御殿場 100 人ミライ会議」を定期的開催しています。 ここでは 10 代の若者から高齢者まで、また、住民のみならず、地域外の方も多く参</p>	②

		<p>加し、御殿場駅周辺地域のまちづくりの実践を図っています。</p> <p>このまちづくりプレイヤーとともに、このまちの魅力を再生、創出し、誰もが楽しい、居心地の良いと思えるまちづくりを推進して参ります。</p>	
7	<p>若者たちから様々な提案がなされているが、どれもが楽しくわくわくする。かつて50年前、ふるさと御殿場に戻り、地域活性のため、仲間と語り合ったあのころを思い出した。</p>	<p>仲間と語り合い、地域のために取組を実践していただいた当時の皆様のおかげで、この地域が過疎化せず、今の状態が保たれていることに感謝申し上げるとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。</p>	②
8	<p>今や、失ったまちを元に戻すには若者のバイタリティと行政支援が不可欠だと思う。事業者のポテンシャルは高いとはいえず、事業者単独で、まちづくりはできない。</p> <p>本案が駅周辺の活性化の指針となるよう願っている。</p>	<p>若者も含め、市、市民、団体、事業者等このまちに関わる皆様と目指すべきまちの姿を共有し、市民協働と地域連携による協力体制の構築を図り、取組を推進して参ります。</p>	②
9	<p>本ビジョンを一読し、まず感じたのはパブリックコメントを求めるレベルに達していないものだという印象です。</p> <p>現在の御殿場市の取り組みを網羅的に見るには価値があるものの、その政策が中心市街地にどのように寄与し、どのような結果を得ているのか定性的または定量的に把握する事は困難です。</p> <p>これでは、良し悪しの判断も難しく実感として、そもそも駅は中心市街地のままでいいのかという議論すらでき</p>	<p>本ビジョンは御殿場駅周辺地域の課題に応えつつ（課題解決）、より良いまちにしていく（価値創造）ため、主にまちづくりプレイヤーが実践する際の指針を示したものです。</p> <p>市民等がまちづくりの実践をすることを良しとし、目標指標を設定させていただきました。</p> <p>わかりにくい文章や表現等は、毎年、市民等に意見を伺</p>	③

	ません。	い、修正して参ります。 また、中心市街地の場所については、上位計画である総合計画や都市計画マスタープランと整合を図って参ります。	
10	現状行った実証実験は何を目的とした実験だったのかもわかりません。100人ミライ会議は継続する価値が乏しいので解散するべきだろうと考えています。	本ビジョン策定にあたって、実施された取組については、取組毎に趣旨・目的が異なりますので、御殿場100人ミライ会議等の機会にご説明させていただいたり、市ホームページ等で情報発信を強化する等させていただきます。 御殿場100人ミライ会議は、今のまちについて住民、企業、行政等が意見を交わし、新たな実践を生む場、まちづくりプレイヤーの発掘・育成をする場として重要と考えております。 今までの開催でも多くの反響があり、まちを考えるきっかけ、実践が生まれるきっかけを創出して参りました。今後も継続して開催します。	③
11	御殿場市全体の事を総合的に学び、議論する場所でなければ駅周辺の活性化は難しいでしょう。まずは各論をやめ総論、地域住民が参加している組織にしていかなければならないものと考えています。	ご意見のとおり市全体のことを総合的に学び、議論する場も必要と考えます。 御殿場100人ミライ会議のLINEオープンチャット等を通じた当局以外の会議、講演会の発信の強化及びまちづくりプレイヤーが実施するその様な取組を支援	③

		して参ります。 また、地域住民の事情に合わせ、会議の開催又は個別にお話を伺う機会を増やし、上記同様、まちづくりプレイヤーのその様な取組を支援して参ります。	
1 2	次の改善が必要です。 1. 今後 100 年の御殿場市はどうあったらよいのか 2. 100 年後の姿に近づける為には、次の 10 年どうすればよいのか 3. 次の 10 年の為に行政ができる事は何か を議論していく必要があります。	御殿場市全体の将来については、上位計画である総合計画及び都市計画マスタープラン等と整合をとり、本ビジョンの改善、更新をして参ります。	③
5	意思決定後の策定案の内容	(資料添付)	
6	意見の公表先	市ホームページ、まちづくり推進課	

担当課	御殿場市都市建設部まちづくり推進課まちなか創造スタッフ TEL : 0550-82-4216 メールアドレス : <a href="mailto:toshiseibi@city.gotemba.lg.jp">toshiseibi@city.gotemba.lg.jp</a>
-----	---